

ロシアによるウクライナ侵攻に関する 市長コメント

ロシア軍の侵攻により、幼い命までも奪い、数多くのウクライナ国民が危機にさらされています。

いかなる理由であっても、他国への軍事侵攻は許されるべきものではなく、国際社会の平和と安定を著しく脅かすものであり、人道的にも断じて容認できるものではありません。

核兵器の廃絶と世界の恒久平和の達成を目指し、「平和都市宣言」を行った本市として、ロシアによる軍事侵攻に対し一刻も早い攻撃の停止・撤退ならびに平和的解決に向けた停戦合意への努力を強く求めます。

令和4年3月7日

富里市長 五ヶ嶽博文